



- ◆6月上旬の低温により、生育は停滞気味で推移しています。平年と比べ7日程度早い状況です。
- ◆ジベ処理遅れが予想されます。黒系や赤系につきましてはジベ遅れによる着色不良に注意しましょう。
- ◆新梢が混む時期です。6月8日に梅雨入りしましたので、新梢が混む前に新梢管理を実施しましょう。

ぶどうセンター付近 露地生育状況	展 葉 期	開 花 期	満 開 期	落 花 期
平 年	5月2日	6月11日	6月14日	6月17日
昨 年	5月2日	6月 6日	6月 9日	6月13日
本 年（有核巨峰）	4月30日	5月30日	6月 4日	6月 7日
本 年（種なし巨峰）	4月30日	6月 1日	6月 6日	6月 9日
本 年（シャインマスカット）	5月3日	6月 7日	6月12日頃？	6月15日頃？

【第6回ぶどう農薬散布（有核・種なし共通）】

散布時期	落花 12 日後 （6/17～20 日頃） 前回から7～10日後			
散布薬剤	水	100 ℓ	散布日	月 日
	フェニックスフロアブル	25 ml		
散布薬剤	ペンコゼブフロアブル	100ml	散布量	ℓ
	劇 アドマイヤー顆粒水和剤	10 ml		
(劇) …劇物のため購入の際は印鑑をご持参下さい)				
散布量	10a当り 400ℓ 以上 散布ムラ、死角のないようたっぷり散布			
適用病害虫	べと病・晩腐病・黒とう病・褐斑病 スリップス類（チャノキアザミウマ）・ケムシ・ハスモンヨトウ・ハマキムシ			
注 意 点	※ペンコゼブフロアブルは施設栽培（雨よけ含む）の登録が開花前までのため、 <u>雨よけ栽培はペンコゼブに代えてホライズンドライフロアブル 2,500 倍（収穫 21 日前まで、3回）を散布する。</u>			
	※今年は <u>アドマイヤーフロアブルからアドマイヤー顆粒水和剤に変更になっています。</u>			
	アドマイヤー顆粒水和剤は使用倍率が 10,000 倍ですので注意して下さい。			
	※葉面散布剤は果粉の溶脱が心配されるため、混用しない。			
	①ジマンダイセン・ペンコゼブ・リドミルは同一成分のため、散布回数に注意（合計 2 回まで）			
注 意 点	②種なしぶどう、雨よけ栽培については袋かけ前最終防除となるため、散布ムラや死角がないよう散布する。			
	③主幹害虫発生園は主幹、主枝にたっぷり散布する。心配な樹は粗皮削りも実施			
	④カメムシ・コガネムシ発生園はアドマイヤーに代えてアーデントフロアブル 2,000 倍（収穫前日まで、4 回）を散布してもよい。			
注 意 点	⑤薬剤の飛散に注意し、近隣の畑にはドリフトのないよう十分注意しましょう。			

【有核巨峰無核果対応について】

開花期の低温等で単為結果の発生が心配されます。下記の点に留意して、適期に作業を実施して下さい。

・結実が確保でき次第早期に摘房を実施して下さい。

有核果が 15 粒以下の場合はジベ処理を実施し、着果量を確保する。

・ジベ処理をする場合

濃度：ジベレリン 25ppm + フルメット 10ppm（水 2ℓ にジベ2錠とフルメット 2 本）

時期：満開 10 日～20 日後（1 回）

※摘房、粗摘粒を実施後にジベ処理を実施し、仕上げ摘粒は早期に実施する。

・ジベ処理をしない場合

子を中心に摘粒を実施し、1 房当り親で 15 粒以上、175 g 以上の PC 用房づくりを目指す。

園全体の着房数を多くし、収量を維持する。